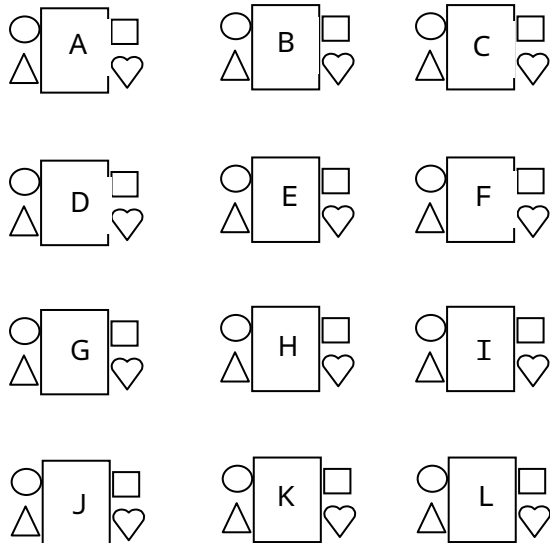


進行

学校事務 夢プラン 2008 を考えよう



この研修の目的は3つあります。

*** コミュニケーション能力の向上**

こんな機会はないかもしれない。短い時間ではあるけれど、がんばってください。

*** 同じ学校事務職員同士の違いを認識する。**

経験値や環境により、個々の仕事観や目標設定は大きく異なっている。すべてに肯定感を持って受け入れられるようになろう。

*** どんな学校にしたいのか、どんな学校事務職員になりたいのかをイメージし、具体的な実践をひとつだけ決意する。**

進行について 今回で3回目ですね。研修部の井上が担当します。よろしくお願いします。
自己紹介メモを休憩時間の間に完成させて、上着に貼ってください。

15:55 ~ 16:00 説明

16:00 ~ 16:10

茨木市立豊川中学校 (所属名)

井上 智弘 (氏名)

ガチャピン (グループ名)

Step1 テーブルの4人で各自がシートに記入することで、自分のビジョンを整理する。5分一人1分ずつ順番にグループ内で語る。聞き取ったものをメモする。

16:10 ~ 16:25

Step2 全員立ち上がります。テーブルの縦列 ADGJ BEHK CFIL の範囲の中を自由に移動して最低10名以上とやりとりを行ってください。目があったら、握手をして、背の高い人から聴き役になってください。交代してください。Qについては一つだけでもOK。テンポ良く、次々とお願いします。聴いては書く、聴きながら書くを繰り返します。同じ人になった場合は、Qを変えるだけでいいです。聴き役は終わったら、「ありがとうございました。」と必ず言ってください。

16:25 ~ 16:35

Step3 最初のグループに戻って、聴き取りをした結果の自分のビジョンについて+聴き取った内容で紹介したい内容について順番に報告をしてください。ひとり2分でお願いします。残った時間で、(1分!)自分が3月 or 4月からでも実践したい具体的な取組について考えてください。Step4で全員にしゃべってもらいます。

16:35 ~ 16:45

Step4 ABCはAに、DEFはFに、GHIはGに、JKLはLに集合してグループごとに順番に 3月もしくは4月から実践したい具体的な取組について簡潔に話してください。「グループ名(最初の人だけ) 名前です。私は3月から4月からにがんばって取り組みます等。具体的な実践」終わったら全員で拍手をお願いします。

16:45 ~ 16:50 少しだけ講義

16:50 ~ アンケート記入 閉会行事

できるだけ簡潔にお願いします。

Q1 . あなたは今の学校をどんな学校にしたいですか？

現状のままを考えている場合はあなたの学校の良いところを教えてください。

Q2 . あなたはこれから、どんな学校事務職員になりたいですか？

Q3 . Q1 Q2 を実現するために（実現しているのに）大切なもの・必要なもの・やりたいこと（やっていること）は何ですか？具体的に教えてください。

* 自分自身が 3月 or 4月 からでも 実践したいと考えた具体的な取組について

完成したシートは ワードか一太郎で入力した上、茨木市立豊川中学校 井上 智弘までメールで送ってください。メールアドレス ibjh05c@educ.city.ibaraki.osaka.jp 2月22日(金)までをお願いします。必ず参加者全員の協力をよろしくお願いします。24日(月)まとめを配信します。

次年度に向けた 4つの魔法

1. 情報共有の仕掛けとチームワーク重視の姿勢が仕事にやりがいを生む。

学校を基点に自分に何ができるか、自分を必要としているものは何か、情報を集めて考えよう。職員室・印刷スペースの掃除や片づけは基本です。職員室内の環境整備を通じて、教職員同士がつながれるように工夫し、情報管理を徹底する中で情報収集する仕掛けを考えてみよう。リスクのある場所にしか情報はないことを肝に銘じてがんばろう。職場でのチームワーク（同僚性）こそが、学校事務の未来を切り拓く。こんな学校にしたい！というビジョンを共有し、そのためにこんな学校事務職員になりたい！と考えることができるようになろう。

2. 『子どもたちのため』そう考えるとすべてがつながる。

教員の負担軽減を真摯に受け止めていこう。現場では精一杯で、そんなことは期待されていないかもしれない。だからこそ、おいしい！実際に取り組んでいる仲間や先輩に会って話を聴いて、現場を見てみよう。学校での主役は『子どもたち』です。間接的にしろ、直接的にしろ、今自分ができる最高のサービス（支援）を提供しよう。

3. コンプライアンス意識を常に持って仕事に取り組もう。

コンプライアンス意識とは直面している問題や事象に対して社会の視点・常識から見て「問題にならないだろうか」「本当に大丈夫だろうか」という意識や疑問を持つこと。

- * 誰かが見ている、誰かに見られていると自らを戒め仕事に臨むこと。
- * ちょっと変だな？大丈夫かな？というセンサーを常に持ち、気づいたことを誰もが言い合える風通しの良い職場づくりをめざそう。
- * 「知識」がいくらあっても「コンプライアンス意識」がないと不正行為を生むことになる。
- * 自分の職域だけで判断を完結しないで、常に「学校としての対応」を考える習慣を身につけよう。

4. 自分のことを理解してくれる仲間を見つけよう。

職場内で、学校事務職員同士で。発散することはとても大切。がんばろうという気持ちをちょっとだけ長持ちさせてくれる仲間が、絶対に必要。ちょっとがんばると実はそこには危険がいっぱい！ストレスと上手につきあう工夫が不可欠。